

金曜コラム - 不当なやつ、否定するやつ、恥ずかしいやつ

朴チャンボム（尚志大学校教授）

昨年冬、私たち国民に大きな希望と誇りを抱かせた人々がいた。カーリングというものがいったい何をするのか、誰がするのか、どこでするのか、どのようにするのかも分からないときに、私たちが「ヨンミ、ヨンミ、ヨンミ！」と叫んで笑うことができようしてくれ、楽しませてくれ、幸せにしてくれた。また、私たちが大韓民国の国民であることを誇りにしてくれた。まさにカーリング代表である。しかし数ヶ月が過ぎ、再び冬が近づいてくるこの時点で、私たちは彼女らについて壊滅的なニュースを伝え聞くことになる。

「チームキム」がこの間いろいろ理解できない不当な扱いを受けたという事実が分かった。カーリングは寒い冬にする冬季スポーツと漠然と知っていたが、聞いてみると彼女らはより厳しい試練の冬を送っていたのだ。そうだ。私たちは彼女らのプレー一つ一つに拍手をしながら、笑って、口をあけて叫びながら見たのは残酷童話だったのだ。

不当な扱いを受けた者はまさに 2018 平昌冬季オリンピック女子カーリングチーム、別名「チームキム」メンバーと外国人コーチである。まず選手たちが、彼女らが受けた不当さを明らかにして、その後、外国人コーチがこれに対して 100% 同意することはもちろん、コーチ自身が受けたいくつかの不当なことも追加で明らかにした。

彼女が受けた不当さには次のような内容である。チームメイトの金チョヒ選手がトレーニング中に怪我をしたが、その場に監督が入ってきて言ったこと、訓練時間に監督が指導せずコーチとしたり、選手だけでしたこと、各種行事に説明もなく一方的に呼び出されたこと、訓練費と賞金について説明や用途を通知しないこと、募金寄付金を適切に伝達していないことなどがあつた。それだけではない。筆者がこの記事を書く数日間にも、彼らが行った悪事に対して、より多くの情報提供が続いていた。どれも不当ではない事が一つもないように見える不当さである。

否定するのは女性監督、混成代表チーム監督、元カーリング競技連盟副会長である。知られている通り、彼らはすべて一つの家族だ。「チームキム」が加害者と目していた者である。

「チームキム」が大韓体育会長に送った訴え文と放送のインタビューで提起した問題は、「監督の資質」、「チーム私有化」、「選手の人権」、「訓練費と賞金分配などの金銭問題」、「不和の造成」、「後援金支給問題」、「言論統制」などである。これに対して彼らは TV のインタビューで、「暴言と人権侵害など全てなかった」、「(後援金) 支払いタイミングを逃した」などの立場を明らかにした。このように、自分たちに向いている非難の矢について彼らの姿勢は否定である。

恥ずかしいのは私、スポーツ界そして国民である。

またか？ その周辺ではまだそんなことが出るの？ こんな質問のような非難を再び受けた。一言で恥ずかしかつた。そうだ。まだ起きています。今後も起こりそうだという不安も持っている。チェ・スンシル、金ジョン事態（訳注：チェ・スンシルの推薦で文化体育観光部の次官になり、2016. 10. 30 辞退するときまでチェ・スンシルらの体育系人事介入及び利権掌握を幫助した）の影から抜け出す前にこのような事がまた明らかになったのだ。多くのスポーツ人が恥ずかしいと感じている。国民も自分たちが大声で心から応援をして

いた国家代表があんな扱いを受けていることを知って、どのくらい恥ずかしかったかも推測できる。これらの指導者は選手たちが流した汗と時間と努力ではなく、ただ自分たちの恩恵(?)によって優れた成果を達成することができたと洗脳させていたのだ。このようなごまかしが起きるように油断していた私、スポーツ界そして国民が感じなければならぬのは恥である。

とても大きく深刻なこの事件がなぜ少し、それもほんの少し輝いて、すぐに消えたのか？ チームキムが悔しくないということか？ 深刻な問題ではないという事だろうか？ 選手たちの人権を潰してしまっている彼女らの指導者たちが強引ではないだろうか？ この事件を眺める私たちは、この社会が恥ずかしくないのだろうか？ 今この時間にも「チームキム」の世界ランキングは落ちている。ランキングが落ちるということは、単純な競技力の問題ではない。再び既存の上位に上がるのは時間だけでなく、以前よりも多くの費用がかかるということの意味する。一部の誤った指導者と協会によって、大韓民国スポーツ人を応援する多くのファンたちが耐えなければならぬ代価はこのように大きなものである。

結局、文化体育観光部は11月19日、慶尚北道、大韓体育会と一緒に合同監査班を構成して、15日間「チームキム」が公開した選手の人権と訓練の管理不良、不正会計、選手褒賞金着服など複数の疑惑について特別監査を開始した(CBS ノーカットニュース、呉へウォン記者、2018.11.19)。遅い感はあるが今後、選手と指導者、私たちが納得できるように明確な結果が出ると良い。監査は監査らしなければ。感謝になってはいけないだろう。(訳注：監査と感謝は同じ発音なのでダジャレでは?) 全能の権力は今の私たちの社会には似合わないだろう。「チームキム」彼女らから再び明るい笑顔を見ることができたら良いだろう。

01 連合ニュース 2018.11.19

【ジョンソン カリワンサン 旌善 可里旺山 平昌オリンピック施設事後活用の解決策議論】

2018 平昌冬季オリンピックアルペン競技を行った旌善可里旺山の事後活用解決策をめぐり、江原道と政府が対立しています。

山林庁と環境省は全面復元を、道は部分復元を通じたゴンドラなどオリンピックの遺産施設の合理的存置を掲げ、平行線となっています。

道は19日、山林庁中央山地委員会にアルパイン競技場3次復元と存置計画を提出する予定だと明らかにしました。

復元対象81haのうち77.6haのみを復元してゴンドラなどの施設は存置することなどが主な内容です。

それに先立ち道は先月、山林庁のアルパイン競技場142ha面積のうち71%に相当する国有林(101ha)の使用期限を今年12月31日から2023年8月まで4年8ヶ月間延長する更新許可を提出した事があります。

山林庁はしかし、オリンピック開催のための条件付き無償貸付の目的が達成されただけに使用許可の延長はできないとし、差し戻しました。

ただし、無償貸付期間が終了すると違法施設になるだけに、年末までに道がゴンドラなどの施設撤去方針を定めて基本計画を提出すれば、無償貸与の有効期限を2ヶ月間猶予してあげるという見解です。

オリンピックを行った競技場が不法施設に転落し、行政代執行が行われる破局を防ぐには一日も早く施設の解体計画を立てるということです。

環境団体と正義党江原道党なども復元を前提とした開発だったという点を強調しながら、全面復元を主張し

ています。

このような意見の中に道が平昌冬季オリンピックとパラリンピック大会支援委員会に可里旺山活用案を上程することにして解決策が用意されるのか関心が集まっています。

オリンピックを準備していた 2013 年 3～5 月に環境省と山林庁が参加した大会支援委員会と大会支援実務委員会でアルパイン競技場持続活用について各省庁長官と局長などが原案に同意したことが道の主張です。平昌冬季オリンピック特別法施行令に新築競技場施設の事後活用案と森林保護保全・復元計画に関する事項を大会支援委員会で議論できるように規定しただけに、大会支援委員会で可里旺山の事後活用の方向が判断されなければならないという見解です。

これにより、道は合理的存置など可里旺山の事後活用案を大会支援委員会に上程することを文化体育観光部と協議中です。

道関係者は「国務総理が委員長である大会支援委員会を通じて、オリンピックの遺産施設を生態探訪教育用に転換することをはじめ、部分復元で環境破壊を最小限にするためにあらゆる努力を尽くす」と言いました。

<https://sports.news.naver.com/general/news/read.nhn?oid=001&aid=0010477021>

02 jtbc ニュース 2018.11.20

【 ' 体育特技生内定' 相次ぐ疑惑・・・随時選考は「有名無実」 】

延世大学校に続き、高麗大学までアイスホッケーの技術合格者が事前に内定していたという疑惑が、以前お伝えしたように大きくなっています。取材記者ともっと詳しく見てみましょう。

黄イェリン記者、情報提供者が合格者発表 8 日前、高麗大合格者名簿を JTBC 情報提供掲示板に上げたということですが、そのリストをどのように入手したかも明らかでしょうか？

[記者]

情報提供者はアイスホッケーをする学生の保護者に該当リストを、高麗大入試を準備していた複数の保護者から受けとったと明らかにしました。

取材陣が会った何人かの学生の親は、大学や高校の監督がその事実を事前に教えてくれるとも伝えられたんです。

事前通知を受けた親たちが、他の親に知らせながら名簿が流出したという疑惑が提起されている部分です。

[アンカー]

情報提供者がそのリストを最初に受けた時点が 9 月であれば、合格者発表を二ヶ月残した状態ですが、その当時すでに合格者が決定されたと見ることができますか？

[記者]

高麗大の随時選考のうちで体育系特技者選考の場合、願書受付は 9 月に、書類合格者発表は 10 月の終わりにありました。

書類が通過する前に合格者が内定したという疑惑が大きくなる理由です。

[アンカー]

ところがですね。もし合格者が事前に内定されたのであれば、大学側では"事前スカウトだ"と、そう主張することもできるようですが、それは可能な話ですか？

[記者]

現行法規上、事前スカウトは明らかに禁止されています。

実際、体育特技生入試不正が相次ぎ、大学は監督の介入を防ぎ、外部の専門家と一緒に構成した入試制度を導入して来たんです。

特に今年からは事前スカウトを禁止する規定が明文化されました。

乗馬特技生で梨花大に入学したチェ・スンシル氏の娘、ジョン・ユラ氏の特恵議論以降に変わったんです。

しかし合格者が内定したという状況で見ると、変わった随時選考も現場では無用の長物だという話です。

実際私たちが会った親たちは「合格者が決まるのであれば、なぜ随時という選考があるのか」と声を高めていました。

[アンカー]

はい、これに対して現在、高麗大学側はどのような立場ですか？

[記者]

私たちが昨日（19日）午前、高麗大学側に釈明を要請しましたが。

高麗大学は大学の監督が高校の親と事前に会ったという事実は認めました。

しかし、競技場で親に「私たちの大学に来るのはどうか」と尋ねた趣旨だったとし、事前スカウトの意味ではなかったと釈明しました。関連して一緒に見てみましょう。

【高麗大入学先関係者：あの子よく走るね。ねえ、うちの学校に来たら良いだろう。そんな話くらいはすることがあるでしょう？するでしょう。ところで私が言いましょ。今後はそれもできないよう禁止しますよ。】

高麗大側は昨日の夜、私たち取材陣に「高麗大はすべての入試の過程で公平性を最優先としており、体育特技生選抜においても例外的な事項はない」と明らかにしました。

[アンカー]

先に問題になった延世大学側は JTBC 報道後に独自の調査団を設けたと聞きました。現在の調査はどのように進められていますか？

[記者]

延世大では今日から、審査をしていた入学査定官を呼んで調査するという方針です。

文部科学省の場合、延世大に続いて高麗大にも独自の調査結果を出せと通知するという立場です。

そしてその過程で問題がある場合、捜査機関に告発するとも述べました。

<http://news.jtbc.joins.com/html/738/NB11730738.html>

03 KBS ニュース 2018.11.21

【金ギョンドゥ息子の奇妙なオリンピック出場 「チームキム」の不和まで？】

平昌冬季オリンピック銀メダルで慶北体育会女子カーリング代表、「チームキム」は国民に忘れられない大きな感動をプレゼントしました。しかし「チームキム」ブームは1年足らずで難破の危機に置かれました。

「チームキム」は先週の記者会見で金ギョンドゥ前カーリング競技連盟副会長など指導部の不当な扱いを暴露しました。金ギョンドゥ元副会長は暴言、賞金流用、チーム私有化などの疑惑を受けています。

金ギョンドゥ元副会長は韓国カーリングの発展に大きな貢献をした人物であることは間違いありません。それだけにカーリング界に強大な影響力も与えてきました。「チームキム」の暴露だけでなく、さらなる専

横も疑われています。

金ギョンドゥ元副会長の息子金ミンチャン（慶北体育会、31）のオリンピック出場もその一つです。金ミンチャンは平昌冬季オリンピックで男子代表チームの選手として出場しました。

国家代表選抜前には候補・・・平昌オリンピックでは選抜？

金ミンチャンの所属チーム慶北体育会男子チームは、昨年5月に開かれた韓国カーリング選手権大会第3戦、国家代表選抜最終戦で江原道庁を3対1で破って優勝し平昌五輪出場権を得ました。

当時、慶北体育会チームは最精鋭で勝負に出ました。記録を見ると、金ミンチャンは4試合すべてで候補としてだけ名前があがっていました。

さらに金ミンチャンは昨年3月に開かれた1次選抜戦の時は軍服務中であり、最初から出場できませんでした。軍服務でオリンピックを準備する時間が不足したものです。金ミンチャンがチームの核心戦力ではないという推論が可能です。

しかし、平昌オリンピック本大会で金ミンチャンは最初のゲームから先発で出ました。代表選抜戦では候補だった選手が最も重要な五輪では先発で出てきたのです。

男子代表チームは最初の2試合で2連敗しました。以後3番目の競技から金ミンチャンはオ・ウンス（慶北体育会、25）と交代されて一試合も出ませんでした。金ミンチャン交代後男子代表は4勝3敗の成績を収めました。

当時、金ミンチャンの起用についてカーリング界では理解できないという反応が出ました。カーリングの指導者であるAさんは、「（金ミンチャンが）選手5人のうちで実力は最も落ちる。私たちは国内大会で金ミンチャン選手が先発で出るとむしろ良かった。私たちが勝つからだ。」

去る4月の世界選手権で、慶北体育会男子チームは初めて4強という成績を遂げました。この大会にもほとんど先発出場はオ・ウンスが出ました。

主要大会で候補だった金ミンチャンがオリンピック最初の試合から先発に出てきたのが父である金ギョンドゥ元副会長の背景が作用したのではないかという疑惑がふくらむ理由です。これに対してイム・ミョンソプ（35）慶北体育会男子チームの監督に釈明を求めましたが、まだ回答がありません。

不公正な選手起用？「チームキム」家族とも葛藤

男子代表チームが大会序盤に連敗すると、選手だけでなく、選手の家族も苛立ちました。一生に一度だけの機会を台無しにするという切なさでした。しかし、なかなか言葉に出せませんでした。

行動に出たのは男子代表の家族ではなく、女子代表「チームキム」のスキップ金ウンジョンの父でした。金ウンジョンの父は当時、慶北体育会指導部を訪れ強く抗議したと伝えられました。

選手の家族の証言によると、金ウンジョンの父は慶北体育会指導部を相手に「このまま金ミンチャン選手を続けて起用するなら、私の娘（金ウンジョン）までオリンピックから撤退させる」と強く反発した。激しい抗議の末に選抜選手が交代されました。

「チームキム」の成長をあまりありがたいと思っていた金ギョンドゥ元副会長の立場では、選手の家族のこのような反発が今後の関係に良い影響を及ぼす訳がありません。

文体部 - 体育会の監査、カーリング界全般の徹底した調査が必要

去る 19 日から来月 7 日まで 15 日間、文化体育観光部、大韓体育会、慶北道庁と一緒に「チームキム」事態の特定監査に入りました。監査班は「チームキム」事態と金ギョンドゥ一家の不正な行為を調査する予定です。

金ギョンドゥ一家はカーリング界全体に強大な影響力を行使してきました。金ギョンドゥに従う人物たちもカーリング界あちこちに布陣しています。「チームキム」事態だけでなく、カーリング界全般に対する徹底した調査が必要な理由です。

<https://sports.v.daum.net/v/20181121183158261?d=y>

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 1485-3 スンジョンビル 305 号

체육시민연대 서울시 서초구 서초동 1485-3 승정빌딩 305 호

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net

ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fgpe@jarl.com